

2021 Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ B&G 兵庫ジュニア海洋クラブ 学年 中学2年 氏名 藤田 蒼士		
大会名	2021 Asian & Oceanian Championship		
開催地	タイ パタヤ		
大会期間	11月6日～13日		
セールNo	JPN3407	最終順位	総合4位/アジア2位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当西村までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁じます

気温、水温、ウエアについて	気温は常に25℃以上 水温は約25℃ 陸上では半袖に半ズボン・海上ではラッシュガードにスパッツと水着
海面(湖面)の特徴や風の傾向	レース海面はとも潮が強く早い時で1分間で約40m流されたりすることがありました。 波は風が弱い時はほとんどなく風が強くなると中風から波が不規則かつ大きな波でした。 風はとも東西に大きくよく振れていました。
セッティングで注意したこと	全体的にフリートレース期間は軽風から中風だったのでブームのガラミは出来るだけ広げてマストのガラミはトップの部分は広げてそれ以外は2mmや3mmにそろえていました。 アウトホールは出来るだけゆるくしてセールを深くしていました。
セーリングで注意したこと	スピードを意識して走りました。 風の振れに敏感になってすぐに気づけるように意識していました。
海上で練習したこと	9人でラビットスタートをして常にスピードと上り角度を比べて、調子が良い時も悪い時もなにかを考えてセッティングを少しずつ変えていました。

実際のスベリはどうでしたか？	周りにおびえず良い時は、海外選手より早いスピードや上り角度が高い走りが良く出来ていたと思います。 良くなかった時もレースとレースの間で修正することができました。
スタートは、どうでしたか？	1本目はいつもの日本の感覚で出ようとすると出られなくて失敗してしまいました。 その次からはブラックに引っかかることもありましたが1列目からきちんと出られました。
コース戦略はどうでしたか？	よく風が大きく振れる風だったので振れタックで基本的には走っていました。しかしレース海面の右海面と左海面でブローの特徴が全然違ったので毎レースどっちが良いのか判断していました。
自分より上位の選手との違いは？	コース取りを全然間違えず1上の順位が悪くても必ずフィニッシュの時には必ず順位をあげるコース取り。 アビームとランニングのスピード
国内の練習で役立ったこと	タックの動作の追求やクローズホールドでの波のさばきかた 体の使い方
国内の練習で足りなかったこと	1上をシングルでマーク回航をしても2上で大きく順位を落とすことがあったので自分の順位を守るかつ上げていけるような走りがあまり出来なかったです。
印象に残った外国選手は？	今大会 1位の THA1896 Weka bhanubandh 2位の TUR157 Ege erdemli 5位の THA1243 Chanatip tongglum
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	海外選手に対しての考え方が変わった。 軽風と中風のスピードが上がったと思います。 スタートの技術があがったと思います。
今後の課題と目標は？	今大会では苦手な強風があまり吹かなかったので2次選や国際大会に向けて体力をつけていきたいです。 今大会ではアジアとしては表彰台に上がったけど総合ではあと1歩足りなかったなので、来年はワールドに出場してまずはゴールドに残ることが目標で最大の目標は表彰台を目指して頑張ります。
JODAへの要望	もっと毎年参加している3つの国際大会以外に国外のいろいろなJODAの大会やそれ以外の海外大会に出場すチャンスが欲しいです。 今大会で海外大会を経験する事で多くの日本では経験ができないことをいろいろと経験できたので、こういう経験を増やしていくことが大切なんじゃないかと感じました。
その他	応援ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会